

# 会 議 録

会議名 (審議会等名)		令和6年度 第3回相模原市経営評価委員会		
事務局 (担当課)		経営監理課 電話042-769-9240 (直通)		
開催日時		令和6年11月8日(金) 午後6時30分～午後8時00分		
開催場所		相模原市役所 第2別館3階 第3委員会室		
出席者	委員	9人(別紙のとおり)		
	市	1人(市長公室長 ※諮問書手交)		
	事務局	6人(総合政策・地方創生担当部長、経営監理課長、同主幹、同総括副主幹、同主査、同主任)		
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人	
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第	<p>1 開会</p> <p>2 諮問 さがみはら都市経営戦略について</p> <p>3 議事 「さがみはら都市経営戦略」について</p> <p>4 閉会</p>			

## 審 議 経 過

主な内容は次のとおり。

### 1 開会

定足数及び傍聴者の確認を行い、経営評価委員会を開会した。

### 2 諮問

さがみはら都市経営戦略について、経営評価委員会へ諮問した。

### 3 議事

「さがみはら都市経営戦略」について

- ① 経営監理課長より、資料1に基づき説明を行った後、質疑応答・意見交換を行った。

(以下、質疑応答・意見交換 ○は委員の発言、●は事務局の発言)

- 計画期間について、和暦でのみ表記されているが、西暦についても併記した方が分かりやすいのではないか。全てを併記する必要はないが、ポイントになる部分については、今後策定するものについて検討して欲しい。(出口委員)
- 策定方針については和暦で統一したが、今後策定するものについては、ポイントによって西暦の併記を検討していきたい。(経営監理課長)
- 3の(1)について、市民が参加する具体的なプロセスやコミュニケーション手段が明記されていないのではないか。(山元委員)
- 策定方針を素材に様々な議論をして欲しいという思いがある。そのため、これから議論していく内容まで踏み込んだものにはなっていない。委員の皆様からは、新しい知見や一般的な市民感覚から、こういうものが必要ではないかという意見を出して欲しいと考えている。(経営監理課長)
- 「さがみはら都市経営戦略」はいつ頃策定予定か。(内藤委員)
- 令和7年8月策定を予定している。(経営監理課長)
- 「さがみはら都市経営戦略」と「相模原市総合計画」との関係は、上下ではなく並列の関係なのか。(荻野委員)
- 部門別計画のように「相模原市総合計画」にぶら下がるものではなく、「相模原市総合計画」に定める様々な施策・事業がしっかりと前に進んでいくために、横で支え、一緒に動いていくことで、本市の将来像の実現に貢献していくものと考えている。(経営監理課長)
- 補完というようなイメージで、内容については被る部分もあるということか。(荻野委員)
- 「相模原市総合計画」では様々な施策を網羅的に広く位置付けている。行財政改革

に係る項目も記載されているが、その部分をクローズアップしつつ、本市の成長・発展に資する取組の方向性などを盛り込んだ中で「さがみはら都市経営戦略」としてまとめたい。(経営監理課長)

- 改革がメインになるのか。(荻野委員)
- 将来にわたって、相模原市が持続的に成長・発展して、市民の皆様の満足度の向上につなげるための取組に特化した形になると考えている。(経営監理課長)
- 「さがみはら都市経営戦略」は中長期的な視点を持ちながらとあり、「相模原市総合計画」よりも長い期間を見据えているイメージを持ったが、今回の策定にあたり、どのくらいの計画期間を見据えて議論すればよいか、市の考えが整理されているのであれば教えて欲しい。(宮下委員)
- 「相模原市総合計画」の基本計画については、計画期間は令和2年度から9年度までの8年間の計画であり、基本構想を実現するための施策を定めたものである。また、基本構想とは、概ね20年後を捉えた本市が目指すべき将来像、政策などを定めたものである。そのほか、推進プログラムについては、短期的に取り組む事業を位置付けている。「さがみはら都市経営戦略」は中長期的な視点での議論が必要であるが、一方で、計画期間としては、3年に満たないものとなる。しかし、議論においては、3年後のみを見るのではなく、中長期的な視点を押さえた中で、具体的な施策の内容や取組みの方向性を議論して欲しい。(経営監理課長)
- 3年間という期間とのことだが、企業が中期計画を策定する際には、改定時に、前の計画を引き継ぐ場合と、まったく異なる計画を策定することがあると考えているが、今回のさがみはら都市経営戦略については、中長期的な視野を押さえてということであれば、3年後に作る新たな戦略においては、ある程度つながりがあった方が市民からすると納得感があるのではないか。これから策定するものをフェーズ1とし、改定したものをフェーズ2とするといった作りがよいのではないか、市としてはどう考えるのか。(山元委員)
- 今の段階では、市として明確にこうすべきといったものはないが、色々な議論があって良いと考えている。そのため、そのような「つながり」という発想で議論があっても良いのではないか。(経営監理課長)
- P3の(5)を取り入れた背景を伺いたい。(田中委員)
- これまでの「都市経営指針」などの中で、産業用地の創出や企業誘致、まちづくりといったものが位置付けられていた。これから相模原市が将来にわたって成長・発展していくに当たり、これまでよりも幅広い視点が必要である。そうした中で、相模原市の特性や時代を踏まえた取組を、明確に都市経営という中に位置づけることで、より効果を生みやすいのではないかと、また、全体の取組が加速化するのではないかと期待している。(経営監理課長)
- 庁内検討組織と本委員会の関係について、両輪で検討を進めていくということだが、本委員会で出た議論を、庁内検討組織でフィードバックして、どういった議論がされたかを情報提供してもらえるとということが良いか。(朝日委員長)

- 庁内検討の会議については、本委員会のスケジュールに合わせて開催していきたいと考えている。本委員会で出た意見を庁内検討の会議へフィードバックし、そこでの議論の内容を会議資料として次回の本委員会にもフィードバックしていくといった進め方を考えている。(経営監理課長)

- ② 経営監理課長より、資料2及び3に基づき説明を行った後、質疑応答・意見交換を行った。

(以下、質疑応答・意見交換 ○は委員の発言、●は事務局の発言)

- 段階的に審議をするとはどういうことか。一つのテーマを絞って議論するのか、それとも、内容は絞らずに議論していくのか。(出口委員)
- 回ごとに議論する項目を指定して、議論していくことを考えている。(経営監理課長)
- 議論をする中で、過去の項目に戻ったりすることも良いのか。(出口委員)
- 基本となるテーマは定めた上で議論していくことになると思うが、前回の振り返りのようなものがあっても良いかもしれないし、ある程度議論を進めた際に、過去の振り返りをまとめて行うでも良いので、進め方については、本日の議論の中で意見を伺いたい。(経営監理課長)
- 今回の資料はイメージということだが、考えられる要点の例示の中で「など」という言葉が使われている。ここには記載していないが、市が意図しているものが何かあるのではないかと。それが分からない中で議論しても、変な方向にいつてしまわないかと危惧している。そのため、記載していないものも示してもらえないか。(山元委員)
- 資料の記載の内容は、相模原市の既存計画や昨今の社会情勢を捉えたものを議論のたたき台として必要と考えられるものをお示ししている。これをベースに庁内で議論を開始したところであるため、次回、本委員会で議論していただく時には、内容が一部変更や追加になっている場合もある。本委員会の議論の中で、委員の皆様の見解から、庁内の議論では気づかない部分や、こういった要素も追加した方が良いといった意見が出ることを期待している。大枠として、都市経営戦略を策定していくに当たっての背景や具体的な検討の内容としているので、この一定の枠の中で、様々なご意見を伺いたいと考えている。(経営監理課長)
- 始めに⑤の部分を議論してから①から④の部分を検討するのが良いのではないかと。また、⑤についても、どの取組に重点を置くかの比重を明記し、議論していくと検討しやすいのではないかと考える。(荻野委員)
- ①から順に議論していくのか、⑤から議論するのかといった手順を示してもらいたい。(出口委員)
- ①から順に議論していくことを想定していたが、一方で、⑤については、幅広い部分であるので、⑤の対象範囲について、あらかじめ議論するのも検討しやすいのでは

ないかと思った。しかし、行財政改革の部分については、ベースとなる部分であるので、先に議論した方が良くとも考えている。(経営監理課長)

- 比重という意見があったが、⑤については抽象度が高く、特徴的である。そのため、議論の配分について、少し重きを置いた方が良くのではないかという意見は一致しているのではないか。(朝日委員長)
- 各取組についてはどれも重要であり、特定の取組に重点を置くことは考えていないが、議論の配分については、今後の工程の中で工夫していきたい。(経営監理課長)
- P2の「適切な評価ができるよう「目標」・「指標」を検討」という部分は非常に重要だと考える。一般的に「事務事業評価」と「都市経営としての評価」の視点は異なると思っている。これまでの評価では出来ていなかった、「都市経営」としての適切な評価ができるような答申にしたいと考える。また、P1の「都市経営の考え方」の部分で、新しい都市経営としての評価の方法を十分に出すことができれば良いのではないか。(田中委員)
- 本戦略では期間が短い中でも、本委員会等において進行管理を行っていくことになるが、具体的な数値としての成果指標が良いのか、活動指標のように行動として促していくのが良いのか、どういった評価をしていくかが課題だと認識している。(経営監理課長)
- 網羅的に評価するのではなく、都市経営の視点から評価できれば良いのではないか。(田中委員)
- 指標については、市民から意見を集め、その達成度を評価するというだけでも良いのか。(荻野委員)
- 総合計画の中では、市民からアンケートをとって、経年で捉えて進行管理をしているものが多数ある。(経営監理課長)
- 市民意見の点で言えば、例えば、「市民意見の施策への反映」という項目において、指標を設定するのか、どういった内容の指標にするのかといった議論も重要になると考える。(経営監理課主幹)
- 以前の都市経営指針における進行管理は、別に定めた実行計画による評価であり、細かいものである。今回の都市経営戦略における取組方針や取組の方向性など、過去に施策・事業の方向性そのものを評価の対象としたことはあるのか。(朝日委員長)
- 都市経営指針においては、指針本体における取組方針自体を評価の対象としてきたわけではなく、過去の本委員会の取組としては、別に定めた実行計画における取組の内、進捗が芳しくないものを2次評価として、助言を含めた、評価や進行管理を行っていた。本戦略では、記載されている取組が前に進むためには、どういった進行管理が良いのかということを含め、議論して欲しい。(経営監理課長)
- 相模原市独自の戦略が必要になってくる。リニアなど、ある程度、すでに決まっている未来を見据えつつ、市の施策や考え方を示すことで、相模原市の特徴を出した戦略になるのではないか。(宮下委員)
- ⑤の部分で議論することができれば良いと考えている。(経営監理課長)

- 相模原市の特徴を出すということであれば、共働き世帯を応援するといったキーワードを出しても良いのではないかと。また、高齢者が活躍できる環境を整えるといったことも示せると良いと考える。(荻野委員)
- 策定の趣旨の部分で、カーボンニュートラルなど、グローバルな課題が色々あるなかで動いていく部分や、人口減少などの課題も認識として入れておいて欲しい。(朝日委員長)
- 推進に当たってというところで、職員の意識として、風通しの良い職場風土の醸成を築いてほしい。(荻野委員)
- ②の大都市としての役割については、行政の部分だが、どういう議論をしていくのか。どういった資料を元にやっていくのか想定があれば伺いたい。(朝日委員長)
- 地方分権という趣旨の中で、指定都市として、相模原市が果たすべき役割、責任とは何かということは、都市経営戦略のベースとなる部分である。そのことが直接市民にとってどう影響を与えるかについては、難しいところではあるが、ベースとして機能することで、自律的に正に市民のことを前向きに捉えられるような行政体制の実現ができるのではないかとという視点から都市経営戦略に盛り込んでいる。そのため、できる限り分かりやすく議論できるよう資料等の準備をしていきたい。(経営監理課長)
- 権限の移譲については、児童相談所が県から移譲されたことは良いことだと考えている。また、各区・地域の特性を生かしたまちづくりとしては、各区のキャッチフレーズのようなものがあると議論しやすいのではないかと。(荻野委員)
- 各区というところで、市としては親近感が沸くが、区としては存在感が薄いように感じる。身近に感じることができるよう役割を明示できると良いのではないかと。(出口委員)
- P2多様な主体との共創は重要だと考える。防災など、具体的な事項について検討できたら良いと考える。(田中委員)
- 新しい取組の提案や市との関係性など、色々のご教示いただきたい。(経営監理課長)
- 議論すべきことが多いが、期限も限られているため、大変だと思うが、事務局には資料を早めに提示して欲しい。(朝日委員長)

#### 4 その他

次回委員会の日程調整について、事務連絡を行った。

#### 5 閉会

全ての審議が終了し、閉会した。

以上

## 相模原市経営評価委員会委員名簿

(任期：令和5年7月15日～令和7年7月14日)

区分	役職	氏名	備考	出欠
学識	委員長	あさひ 朝日 ちさと	東京都立大学都市環境学部 教授	出席
	副委員長	たなか ひろゆき 田中 啓之	相模女子大学人間社会学部 教授	出席
		ほうじょう ひろあき 北 條 裕晃	公認会計士	出席
		みやした ともひさ 宮下 量久	拓殖大学政経学部 教授	出席
団体		たけだ みきお 竹田 幹夫	相模原市自治会連合会 会長	出席
		まつした りゅうた 松下 龍太	相模原商工会議所 青年部前会長	欠席
一般 公募		おぎの ゆきこ 荻野 弓希子	公募	出席
		でぐち ただお 出口 忠夫	公募	出席
		ないとう たくみ 内藤 巧	公募	出席
		やまもと ただお 山元 忠夫	公募	出席

(区分ごとに五十音順・敬称略)